

# 令和3年度いじめ対策・不登校支援及び中途退学防止事業 教育活動充実支援事業【総合的な探究の時間】研究成果発表 宮城県佐沼高等学校

## 〈研究のねらい〉

地域人材・資源の活用を通し自己の在り方・生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育み、人との交流を通じて豊かな人間関係を構築する。

## 〈研究開発計画概要〉

地域社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、SDGsやグローバル課題と関連付けて探究活動を行うための指導体制の構築と、主体的に学ぶ意欲と豊かな人間性を育成する。

## 〈具体的取組①:4～5月〉

- ・ 探究活動の意義・価値の理解
- ・ 各種ツールによる自己理解
- ・ 自身の興味・関心の発見  
(NPOまるわいす・底上げによる講話演習)



## 〈具体的取組③:8～10月〉

- ・ 研究テーマ・仮説の設定
- ・ key noteでスライド作成
- ・ 県内外大学教授をアドバイザーとした中間発表会（48班10分野での発表）



## 〈具体的取組②:6～7月〉

- ・ 地域社会・大学の取り組みや課題理解
- ・ 新聞記者の視点を知る
- ・ SDGsの概要・具体を知る  
(職業人講話・SDGs講演会・地域理解講演会)



## 〈具体的取組④:11～3月〉

- ・ 研究テーマ・仮説の再設定
- ・ 地域内フィールドワーク
- ・ アンケート、ヒアリング
- ・ 全体発表会



## 〈まとめ〉

- ・ 様々な事柄や人々の考えに出会うことで、課題解決に必要な知識技能を身に付け、探究の意義を理解した
- ・ 地域や専門家との交流を通じ、自ら問いを立て情報を収集・整理・分析してまとめ上げることができた
- ・ 同級生・級友と協働し、よりよい社会の創造に向けて社会に貢献しようという態度が育成された
- ・ 他者の意見を理解し、自他の存在を認めながら、建設的に調整するコミュニケーション力が育成された

